

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 1 月 19 日

上場会社名 信越化学工業株式会社（コード番号：4063 東証第 1 部、大証第 1 部、名証）

（URL <http://www.shinetsu.co.jp/>）

代 表 者 代表取締役社長 金川 千尋

問合せ先責任者 経 理 部 長 笠原 俊幸 TEL (03) 3246 - 5051

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度に：無
おける認識の方法との相違の有無

2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日）

（1）売上高

（注）金額の百万円未満は切り捨て

	百万円	%
16 年 3 月期第 3 四半期	619,953	-
15 年 3 月期第 3 四半期	-	-
（参考）15 年 3 月期	797,523	-

（注）1. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

2. 当連結会計年度より四半期業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第 3 四半期までの国内経済はデジタル家電など一部消費分野は好調なものの、9 月以降円高が急激に進行し、楽観を許さぬ展開でありました。一方、米国経済は堅調に推移致しましたが、ドル安の進行が与える影響が懸念されております。

当社主要製品の事業環境につきましては、塩化ビニル樹脂の米国市況は主要用途の住宅建築等の旺盛な需要に支えられ堅調に推移しました。半導体ウェハー市況は好調な需要が続き、特に新製品の 300mm ウェハーは市場の拡大が続きました。シリコンやセルロース誘導体は共に多様な需要分野を持ち、総じて安定した需要が続きました。一方、通信関連の設備投資は低迷が続きました。

こうしたなか、当社は 300mm 半導体ウェハー、塩化ビニルの欧州子会社などの増設投資を進捗させるだけでなく、クラリアント社のセルロース事業を買収するなど将来に向けた施策を推進しました。また、安定的に収益をあげるため、製造・販売・技術の各分野の強化に引き続き努めました。

この結果、売上高は、6,199 億 5 千 3 百万円となりました。

（2）当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は発生しておりません。

3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）

業績予想の見直しは行っておりません。

以 上